

## 2 . 三条市の概況

### 2.1 位置・地勢

県中央部に位置し、水や農林資源に恵まれたまち

- ・ 平成 17 年 5 月に旧三条市、栄町、下田村が合併し、新三条市（以降、三条市）が誕生しました。その総面積は 432.01km<sub>2</sub> となっています。
- ・ 三条市は新潟県のほぼ中央部に位置し、信濃川、五十嵐川、刈谷田川 3 つの河川が形成する平野部と南東部の丘陵・山岳地帯から構成されており、都市機能が集積する市街地に加え、豊かな自然や農林資源にも恵まれています。

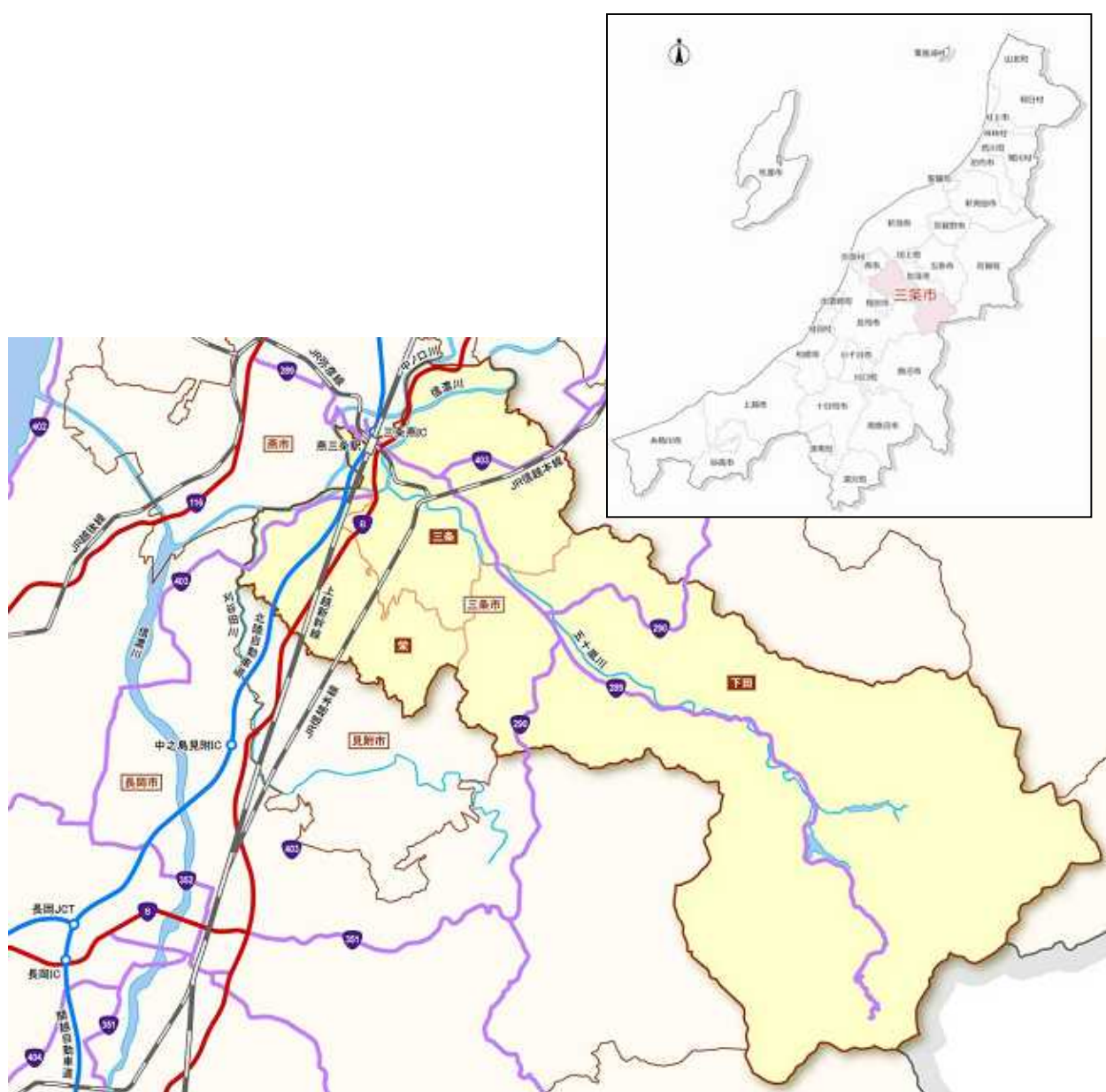


図. 三条市の位置・地勢

## 2.2 人口動態

市中心部での人口が減少し郊外で人口が増加しています

- ・三条市の総人口は平成17年で約104千人であり、昭和60年をピークに減少傾向で推移しています。
- ・地区別人口の増減率を見ると、東三条駅、北三条駅、三条駅で囲まれた市中心部での人口が減少する一方、郊外部で人口が増加しています。

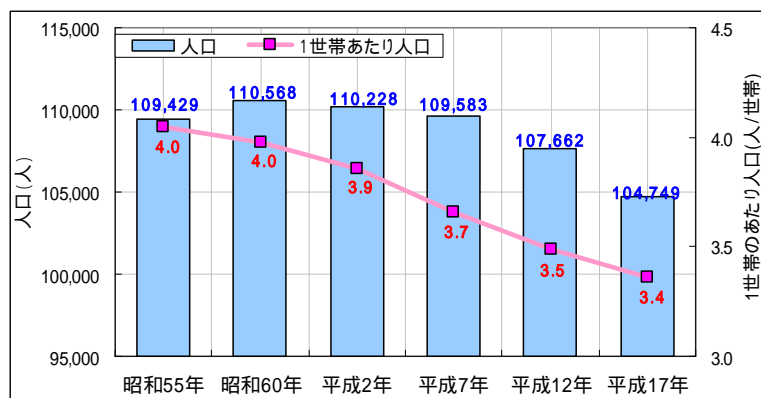


図. 三条市の人口推移 資料)国勢調査

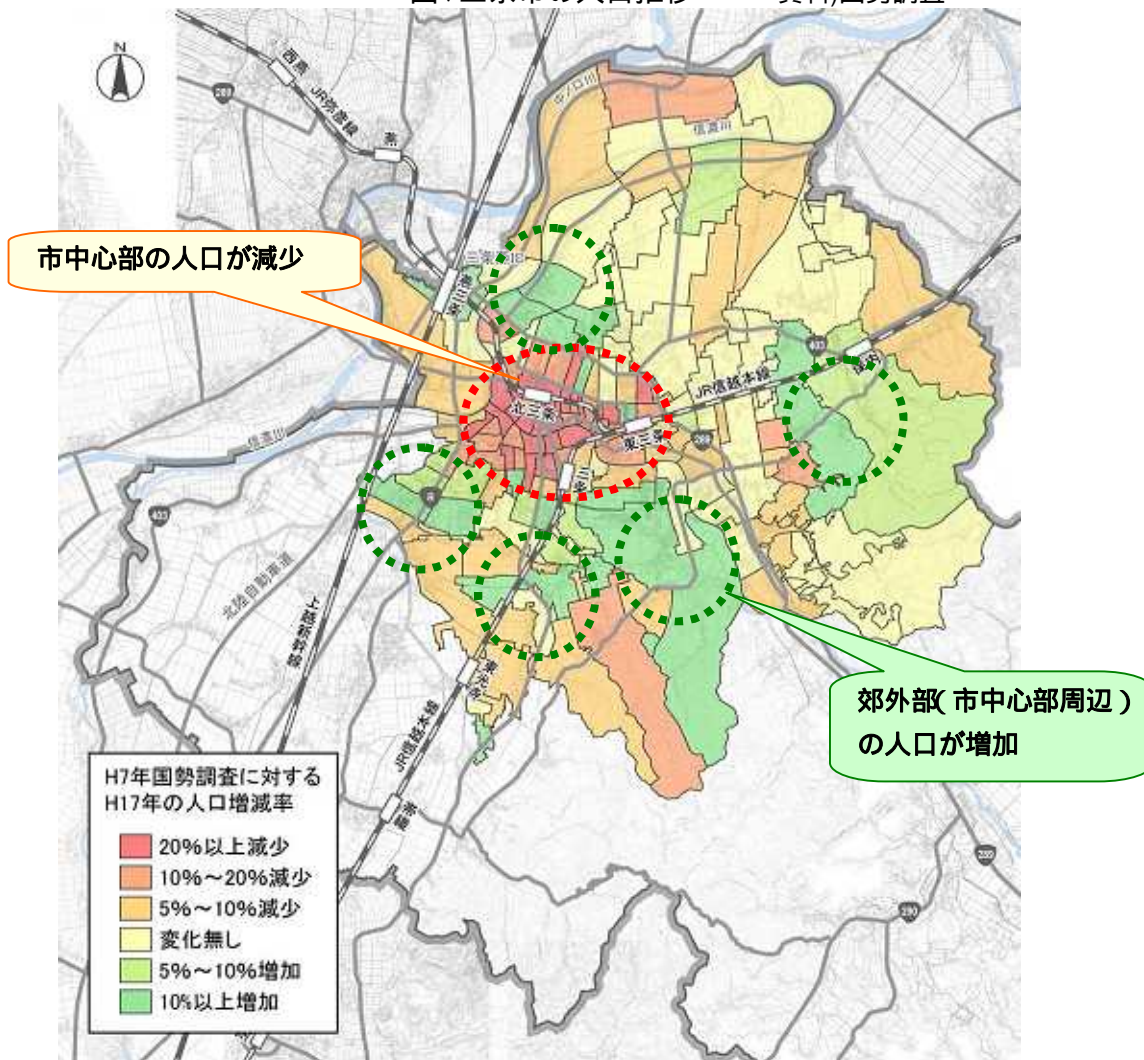


図. 三条地区の人口増減率 資料)国勢調査

市中心部や中山間地域での高齢化が進行しています

- ・ 三条市の高齢化率は平成 17 年で約 23.6% となっており、県平均 (19.6%) を上回る状況にあります。
- ・ 高齢化の状況を地区別で見ると、市中心部や下田地区の中山間部の高齢化率が高く、35% を超える地域もあります。

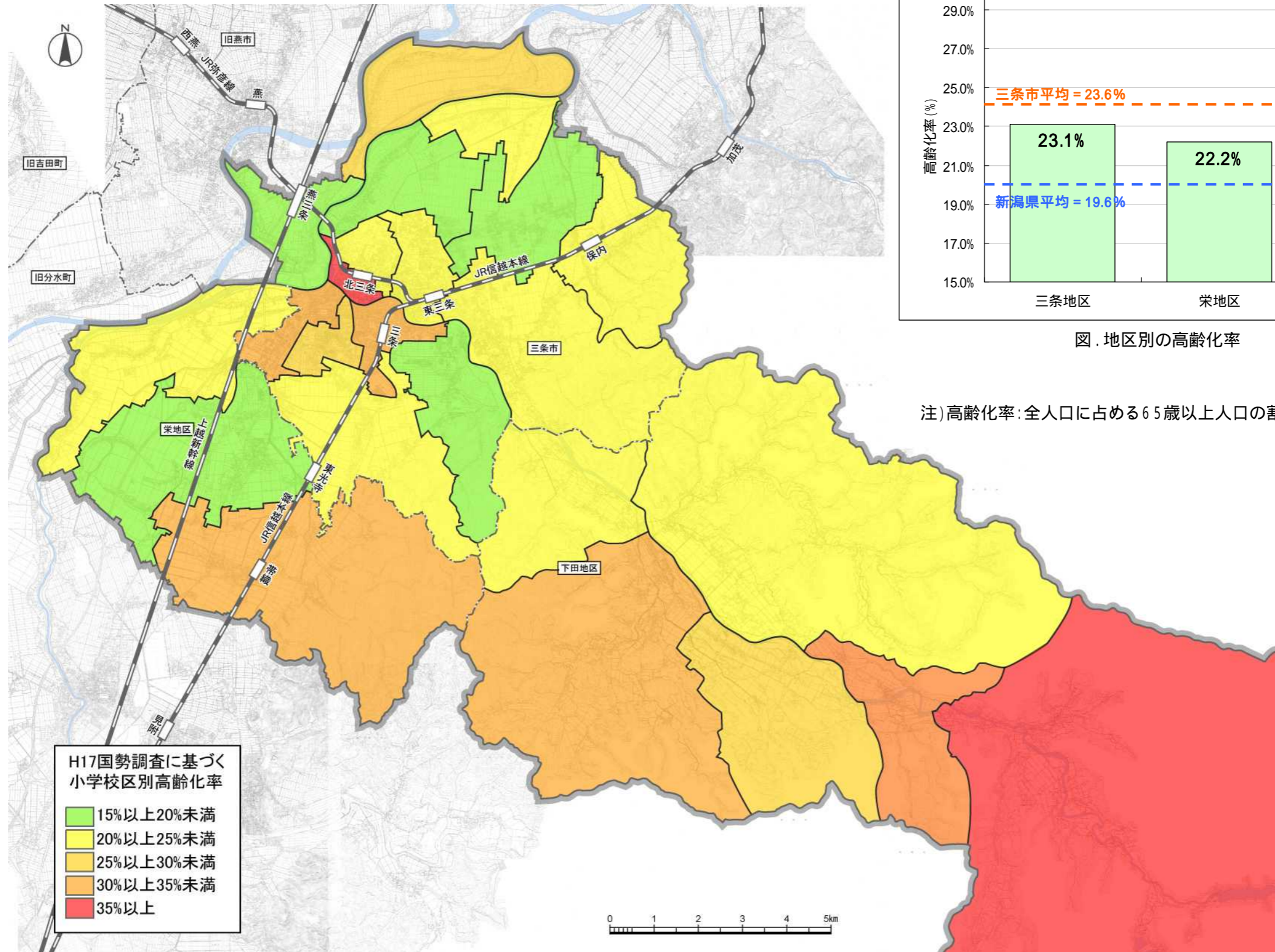


図. 地区別の高齢化率 資料)H17国勢調査

注) 高齢化率: 全人口に占める65歳以上人口の割合

図. 小学校区別の高齢化率

資料)H17国勢調査

### 2.3 市街化の動向

#### 市街地の低密度化が進んでいます

- ・ DID (人口集中地区) の面積は S55 年 (6.8 km<sub>2</sub>) に対して H17 年 (10.5km<sub>2</sub>) では約 1.5 倍に拡大しています。
- ・ 一方 DID の人口密度は S55 年～H17 年で約 3 割減少しており、市街地の低密度化が進んでいます。

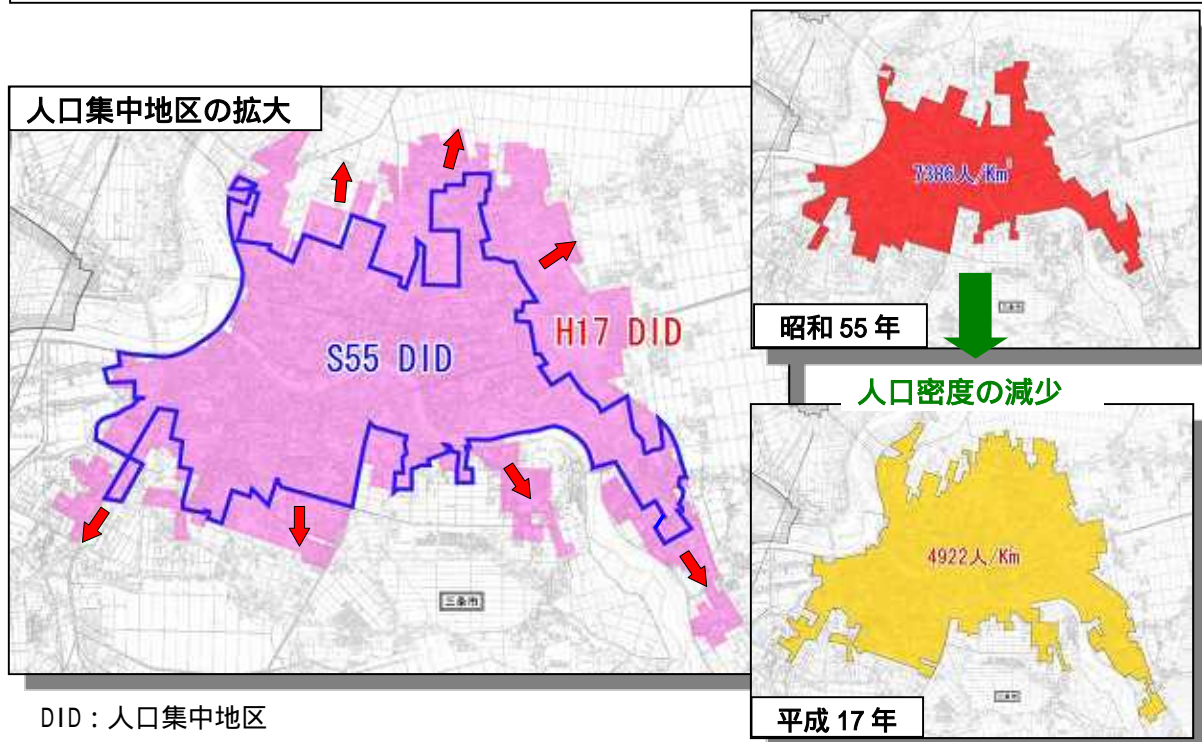
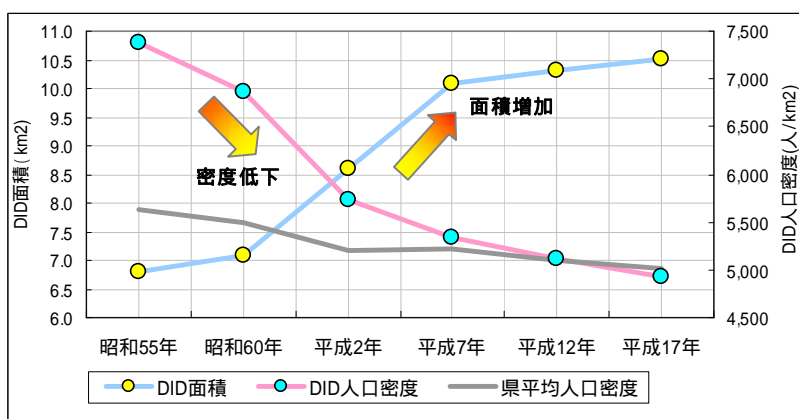


図 . DID地区の推移



年	新潟県			三条市		
	DID面積 (km <sup>2</sup> )	DID人口 (人)	DID人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )	DID面積 (km <sup>2</sup> )	DID人口 (人)	DID人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )
昭和55年	183	1,028,846	5,634.4	6.8	50,224	7,385.9
昭和60年	192	1,055,261	5,496.2	7.1	48,765	6,868.3
平成2年	211	1,096,979	5,211.3	8.6	49,306	5,733.3
平成7年	218.1	1,137,916	5,216.7	10.1	53,888	5,340.7
平成12年	224.8	1,147,904	5,106.1	10.3	52,885	5,124.5
平成17年	226.8	1,138,699	5,021.6	10.5	51,774	4,921.5

図 . DID面積とDID人口密度の経年変化

## 2.4 通勤・通学の実態

### 三条は就業・就学の拠点

- ・ 三条・燕生活圏に関連する旧市町村単位での通勤・通学の移動実態をみると、三条地区への依存が高い状況にあります。

### 栄地区、下田地区では徒歩での通学が不便な地域があります

- ・ 三条市内の中学校 1 校あたりの面積は、三条地区が新潟圏平均以下であるのに対し、栄地区・下田地区では県平均の 2 倍以上となっています。

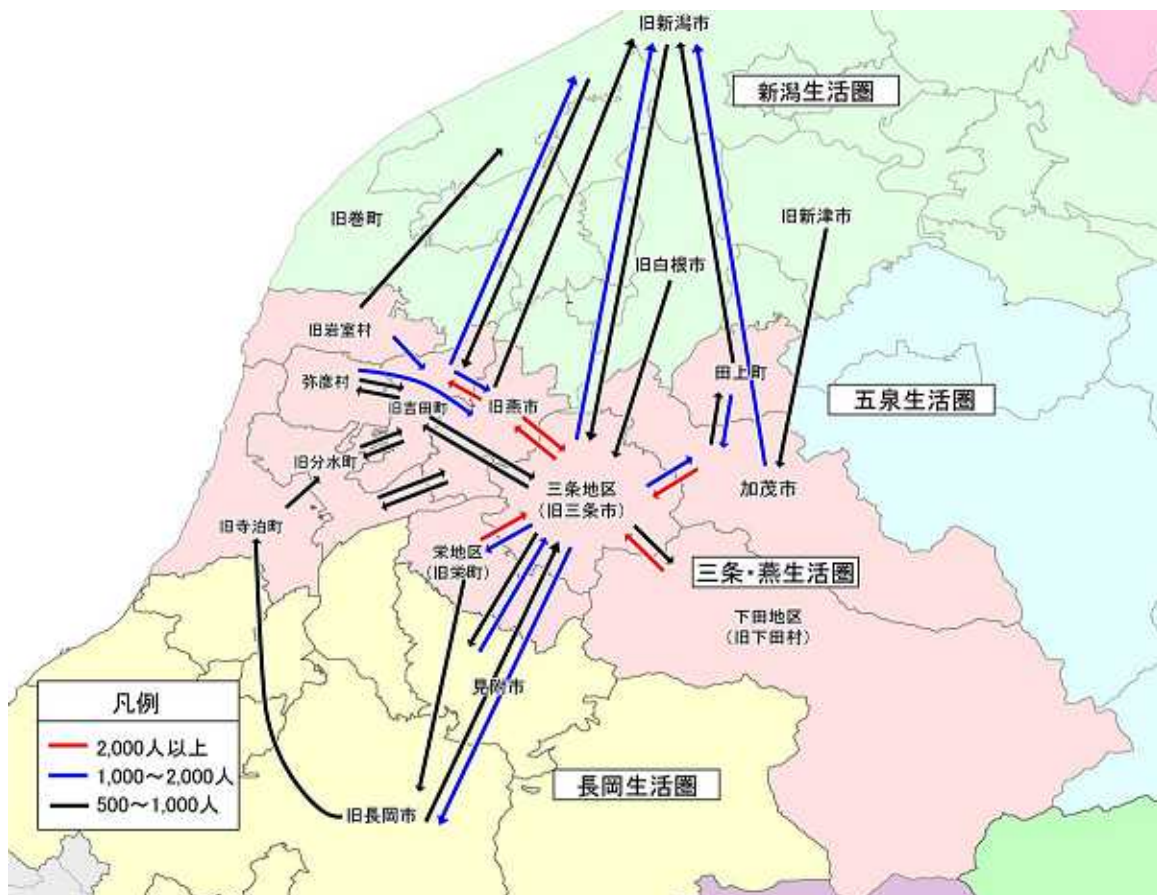


図 通勤・通学動向

資料)H12国勢調査 三条・燕生活圏の旧市町村に関連する通勤・通学の実態

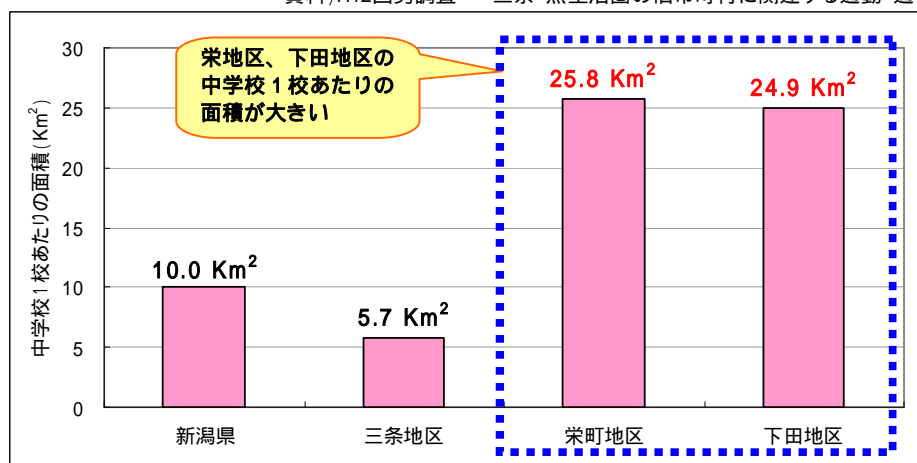


図. 中学校1校あたりの面積

H18年現在

## 2.5 産業活動

### 基幹産業は金属関連、機械関連産業

- ・三条市は金物の町として全国的に有名であり金属関連の売上高は全体の46%と大きく、次いで機械関連が30%となっています。

### ビジネスでの広域圏とのつながりが多い

- ・燕三条駅の乗降客の44%は県外在住者であり関東方面の利用が大半を占めています。
- ・新幹線での燕三条駅の利用目的の45%が業務であり、このうち県外を行き来する利用者が定期的に燕三条駅から新幹線を利用しています。

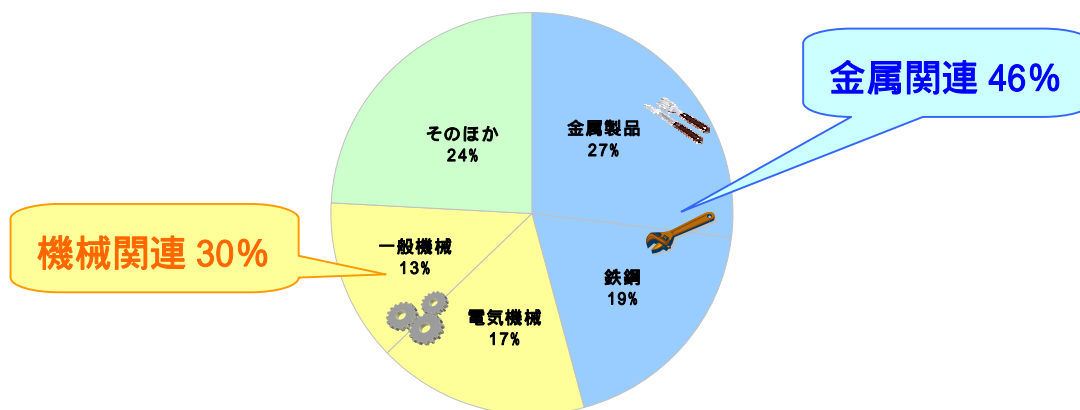


図. 三条市の製造品出荷額

資料)H17年三条市工業統計書

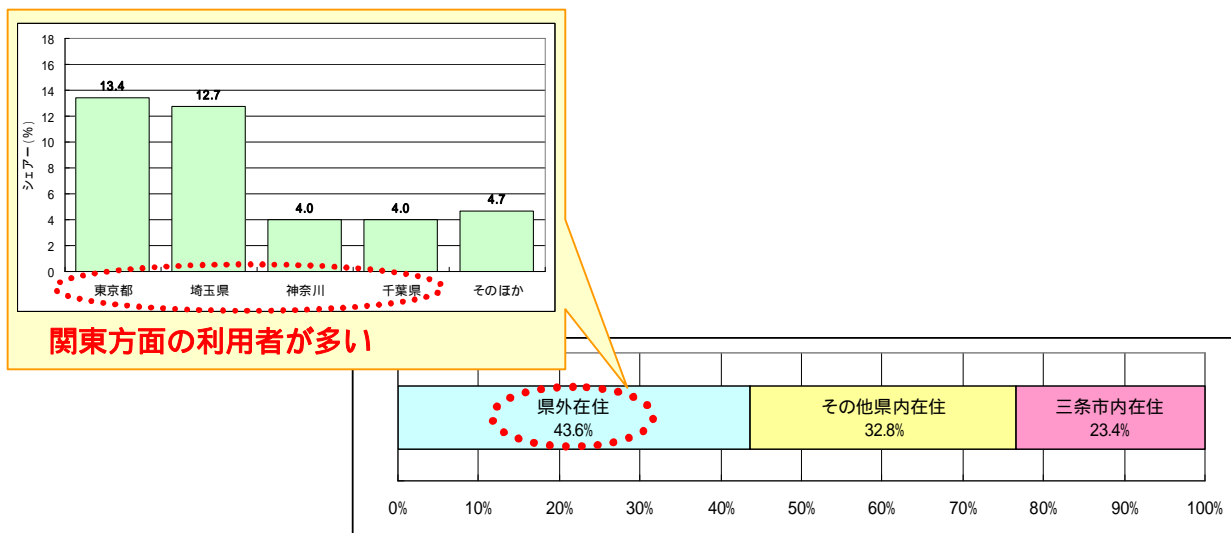


図. 燕三条駅の乗降客の居住地

(N=149)

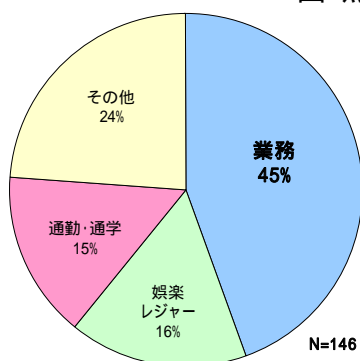


図. 新幹線利用者の来訪目的

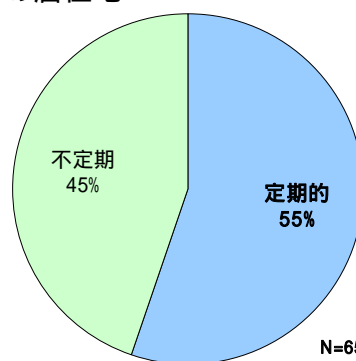


図. 県外関連の利用者の定期利用者割合

注) 月1回以上している利用を定期利用者とした

資料) 新幹線利用者ヒアリング調査

## 2.6 大規模小売店舗と公共公益施設の分布

### 中心商店街の買い物客が減少傾向にあります

- ・大規模小売店舗は三条地区に集中し、郊外型の店舗の立地が多くなっています。
- ・買物の地区別利用割合は、三条市の古くからの中心商業地区である東三条駅～一ノ木戸・本町商店街（東三条駅、北三条駅周辺）の利用客が年々減少する傾向にあります。

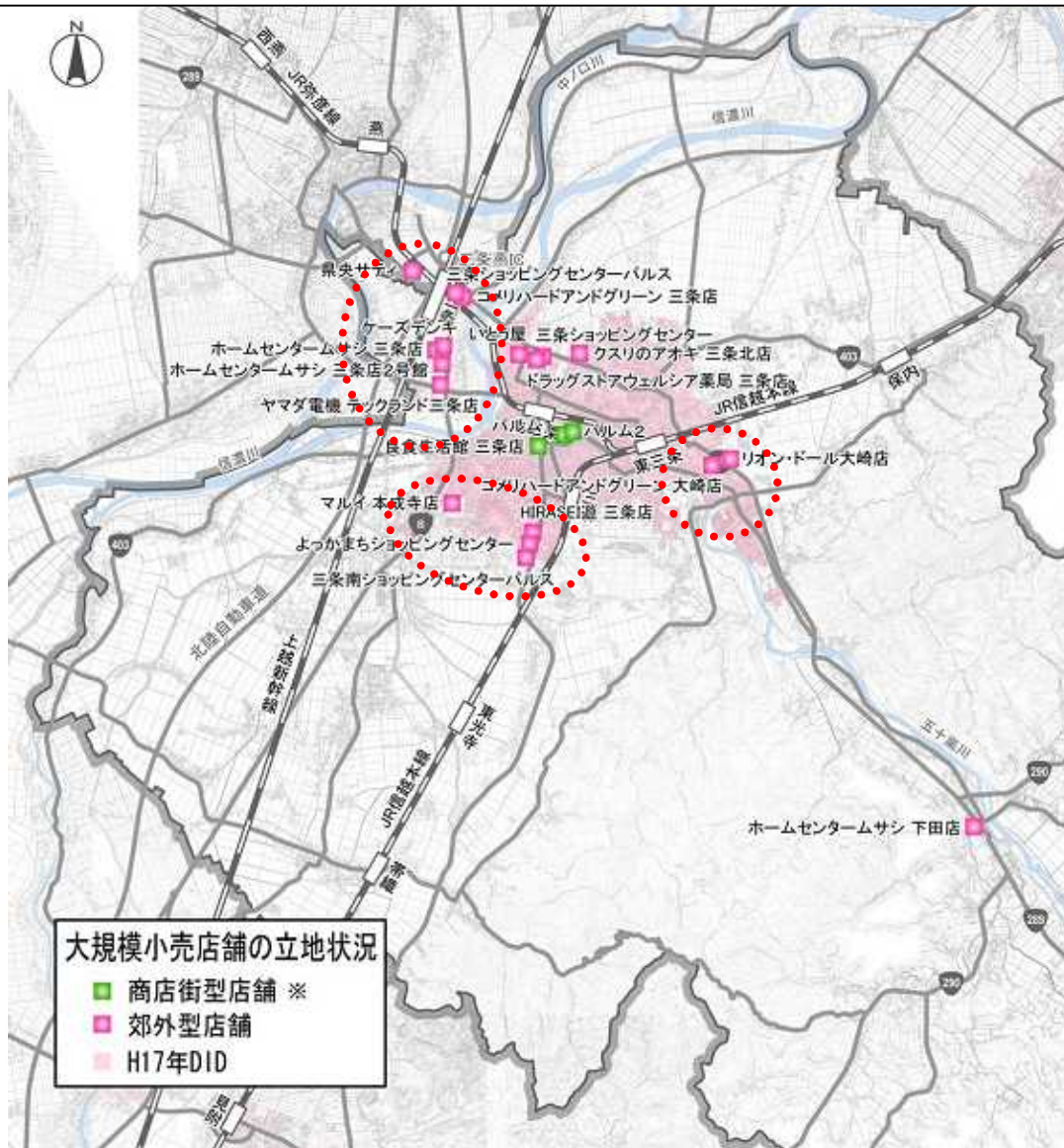


図. 大規模小売店舗の立地状況

新潟県 中心市街地に関する県民意識・消費動向調査報告書による店舗分類  
資料)新潟県ホームページ 大規模小売店舗(1000m2超)一覧 平成19年11月末現在

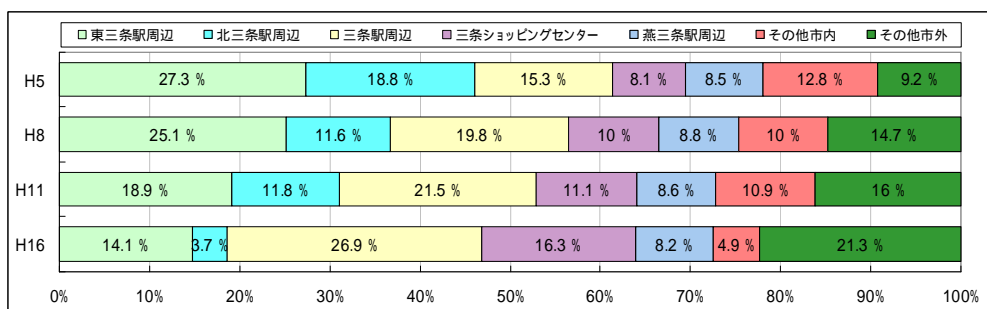
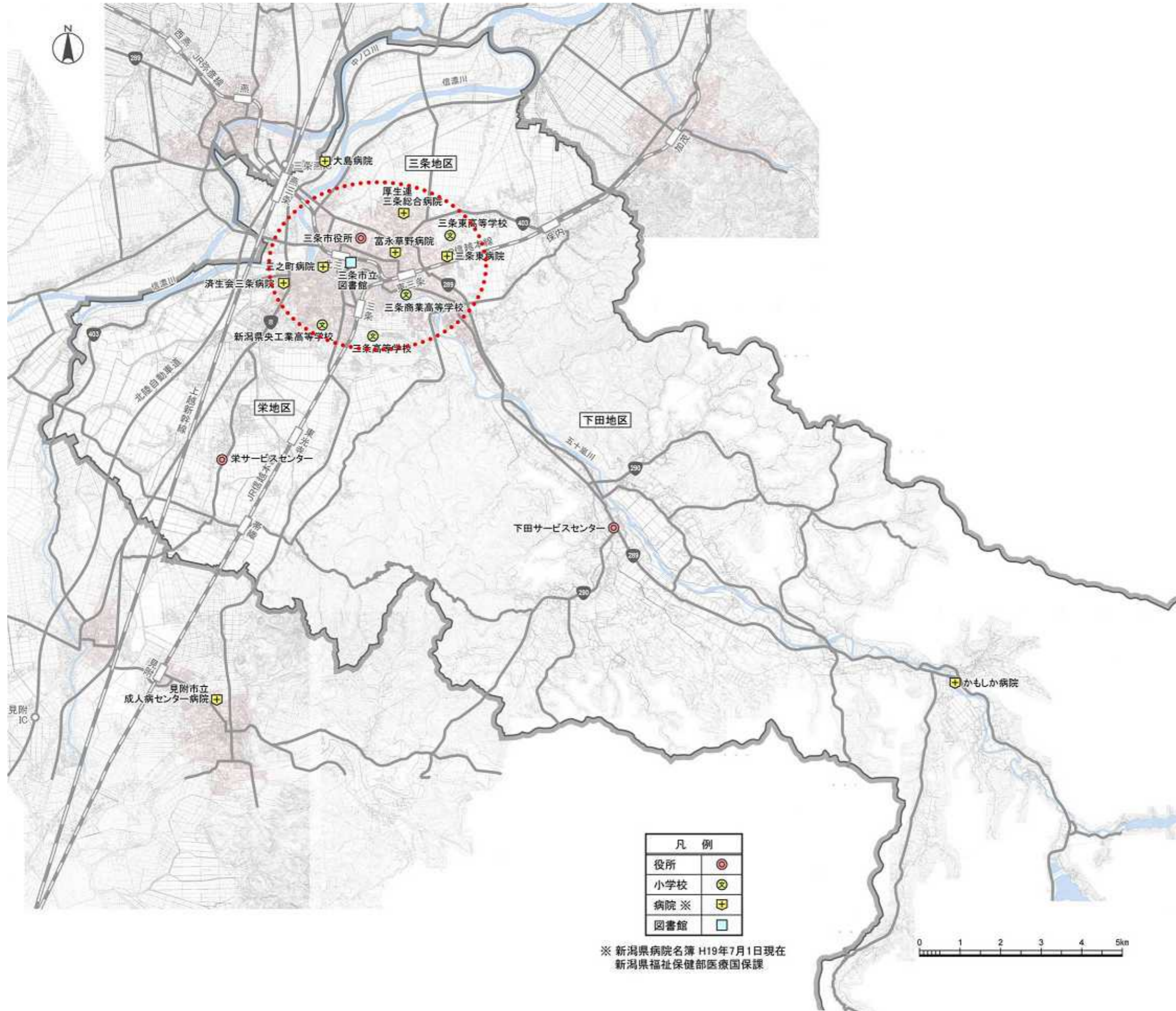


図. 三条市の買物地区利用割合の変化

資料)新潟県 中心市街地に関する県民意識・消費動向調査報告書

公共公益施設の立地状況

・公共公益施設は、三条地区の市街地部を中心に立地しています。



図．公共公益施設の立地状況



## 2.7 交通実態

### 下田・栄地区の高い自動車依存

- ・1世帯当たりの自動車保有台数は増加傾向にあり、平成17年では平均約2.2台と新潟県全体(1.9台)を上回っています。
- ・一方、鉄道、バスなどの公共交通の利用は減少傾向にあり、特にバスの輸送人員はH10年～H19年の間で約4割減少しています。

### 増加傾向にある交通事故件数や自動車のCO2排出量

- ・交通手段としての自動車依存への高まりから交通事故件数が年々増加しています。
- ・また、自動車の排出するCO2も年々増加しています。

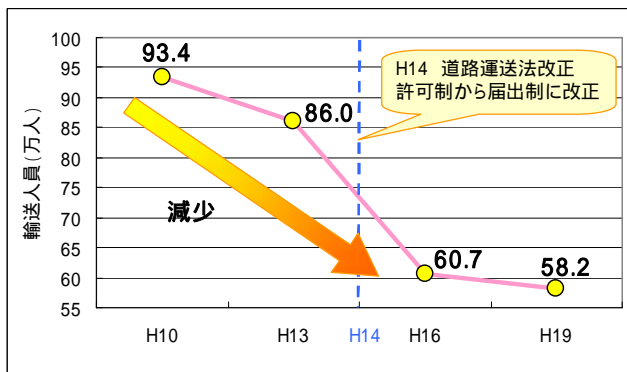


図.乗合バスの輸送人員の変化

資料)越後交通県央観光(株)提供

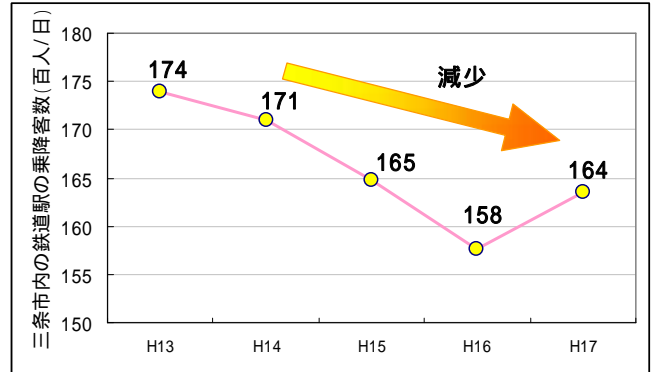


図.鉄道駅の乗降客数の変化

注)三条市内の全駅の合計

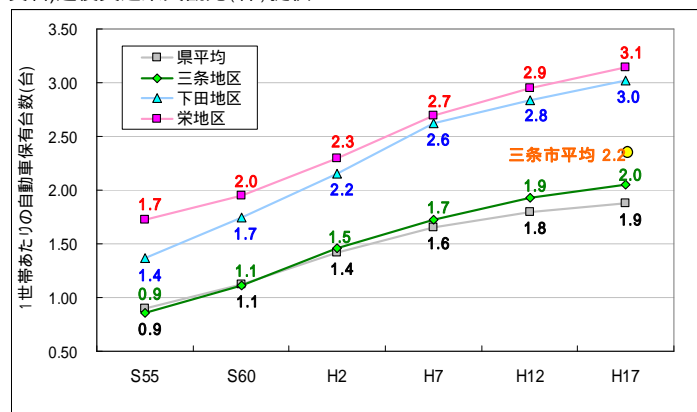


図.自動車保有率の経年変化

資料)新潟県統計年鑑

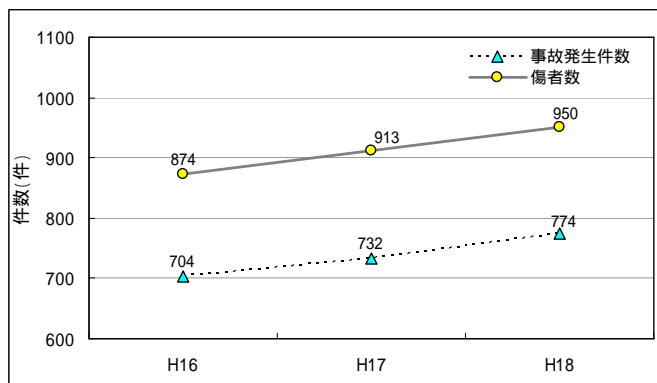


図.三条市の交通事故発生状況

資料)三条市の交通事故 H18年版

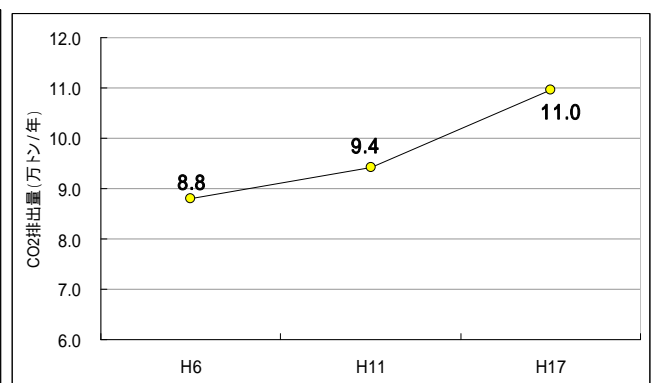


図.自動車排出するCO2の変化

道路交通センサスに基づく三条市の一般県道以上の昼間12時間・年間CO2排出量